



第12回WTTCグローバルサミット開催概要

開催スケジュール



【日程】2012年4月16日(月)～19日(木)
 【会場】仙台:ウェスティンホテル仙台
 東京:グランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール
 (ガラディナー会場は八芳園)



(イメージ)

日付		日程
4月16日(月)	夜	オープニングセレモニー及びウェルカムディナーin仙台
4月17日(火)	午前 午後 夜	仙台サミット 仙台から東京へ移動 オープニングセレモニー及びウェルカムディナーin東京
4月18日(水)	終日 夜	東京サミット ガラディナー
4月19日(木)	午前 昼	東京サミット フェアウェルランチ

サミットプログラム

9つのセッションテーマを設け、各セッションの中で、基調講演、パネルディスカッション、インタビュー、国内外の著名人による特別講演等を行う予定です。

◆主な登壇者(順不同)◆

張 富士夫氏(トヨタ自動車(株) 取締役会長)	Martin Craigs 氏(PATA CEO)
小田 彦氏((株)加賀屋 代表取締役会長)	Gordon Wilson 氏(トラベルポート プレジデント兼 CEO)
高橋 宏明氏(東北観光推進機構 会長)	Taleb Rifai 氏(世界観光機関 事務局長)
西田 厚聰氏(日本組織委員会 委員長／(社)日本観光振興協会 会長／(株)東芝 会長)	Marthinus van Schalkwyk 氏(南アフリカ共和国 観光大臣)
大塚 陸毅氏(日本組織委員会 副委員長／一般社団法人日本経済団体連合会 副会長・観光委員会委員長)	Jim Murren 氏(MGM リゾーツインターナショナル 会長兼 CEO)
小縣 方樹氏(東日本旅客鉄道(株) 取締役副会長)	Willie Walsh 氏(ブリティッシュエアウエイズ 元 CEO／IAG CEO)
田川 博己氏((株)ジェイティービー 代表取締役社長)	Rossi Ralenkotter 氏(USトラベル・アソシエーション 会長)
大西 賢氏(日本航空(株) 代表取締役会長)	Michael Frenzel 氏(TUI AG CEO)
伊東 信一郎氏(全日本空輸(株) 代表取締役社長)	James Hogan 氏(エティハド航空 CEO)
中村 達朗氏(一般社団法人日本旅行業協会 理事長)	Shri Subodh Kant Sahai 氏(インド観光大臣)
安藤 忠雄氏(建築家)	Christopher Nassetta 氏(ヒルトン・ワールドワイド プレジデント兼 CEO)
高松 正人氏((株)ツーリズム・マーケティング研究所 代表取締役社長)	Chen Rong 氏(中国国際旅行社 CEO)
円城寺 かおり氏(CNBC 東京支局 チーフ)	Nick Ross 氏(TV プレゼンター)
松下 芳生氏(デロイト・アジア太平洋 コンシューマービジネスインダストリー リーダー)	John Slosar 氏(キャセイパシフィック航空 CEO)
Robert Laurence Noddin 氏(AIU 保険会社 CEO 兼日本代表)	Kathleen Matthews 氏(マリオットインターナショナル広報部門 チーフ)
Jesper Koll 氏(JP モルガン証券 日本株式調査チーフ)	Chris Rodrigues 氏(英国政府観光庁 会長)
Geoff Ramsey 氏(イーマケター CEO 兼共同創設者)	Frits van Paasschen 氏(スターウッドホテル&リゾーツワールドワイド プレジデント兼 CEO)
Ensan Yuen 氏(EGL ツアーズ 社長)	Manfredi Lefebvre d' Ovidio 氏(シルバーシークルーズ 会長)
Philip C. Wolf 氏(フォーカスライト 創設者兼会長)	Paul Griffiths 氏(ドバイ空港 CEO)
	Hillary Clinton 氏(アメリカ合衆国 国務長官) 【ビデオ出演】
	Felipe Calderón 氏(メキシコ 大統領) 【ビデオ出演】

仙台(4月17日) 日本の復興とアジアの展望フォーラム

2011年3月11日に発生した東日本大震災から1年が経過し、WTTC グローバルサミットは宮城県仙台市で「日本の復興とアジアの展望フォーラム」をテーマに開幕。特に震災からの復興の取組みに焦点をあてる。

日付	セッションテーマ (時間)	内容
4月17日(火)	オープニングセッション (8時30分～9時)	
	1. 復興:日本、他国からの教訓 (9時～10時30分)	2001年の9.11から11年の3.11まで、危機対応がツーリズム産業の常態となった感がある。東北を中心とした日本の経験、知見、更には他の危機に見舞われた世界の他地域のケースも踏まえ、危機管理のあり方を探る。
	2. アジアマーケットの状況ーアジアの中から (11時～12時)	アジアにおけるツーリズムの現状と課題、その世界的な位置づけなどを探るとともに、その将来を探る。
	3. 世界から見たアジアマーケット (12時40分～13時45分)	アジアの旅行・ツーリズムを世界がどのように見ているのか、どのようにアジアを捉えるのが正しいのかを討議。

東京(4月18～19日) 波乱の時代のダイナミックな産業を率いて

過去一年は、債務危機、世界各地での民主化の動き、不安定な世界経済動向、為替や商品価格の大幅な変動など、様々な波乱要素があった。2012年も米国、フランス、台湾、ロシア、インド、メキシコ、ケニア、韓国、中国などの国や地域で選挙が予定されており、同様に「興味深い」年になると思われる。こうした世界情勢は、世界経済(GDP)の9%を占めるツーリズム産業に様々な影響を及ぼすことになる。日本の復興に焦点を当てるとともに、東京のサミットでは、世界経済の牽引役としてのツーリズムの役割、消費者ニーズ、航空産業、ツーリズム産業が激動する世界で果たすべき役割などについて議論する。

日付	セッションテーマ (時間)	内容
4月18日(水)	オープニングセッション (8時30分～9時)	
	1. 日本の今、そして未来 (9時～10時30分)	東日本大震災が日本のツーリズムに及ぼした影響を評価し、回復への道筋を探るとともに、世界三位の経済大国である日本の未来を議論する。
	2. 急激に変化する世界 (11時～12時30分)	世界の政治、経済、産業の地殻変動がおきつつある。その大きな潮流を把握することで、ツーリズム産業への影響を把握し理解する。
	3. 航空業界ーその役割と変化 (14時～15時15分)	ビジネスモデルの変化、様々な規制強化、高騰する燃料価格など、ツーリズム産業の主要な構成要素である航空産業は様々な課題を抱えている。ツーリズム産業全体が健全に発展するために、どのように航空産業を支えることができるかを探る。
4月19日(木)	特別講演 (15時45分～16時15分)	
	4. 我々の声をひとつに (16時15分～17時30分)	ツーリズムは経済や雇用に加え、国際理解促進や地域社会の活性化など、世界のために様々な貢献ができるユニークな産業である。この重要な産業に対する各国政府や国際機関の理解と協力を強めるため、ツーリズム産業が幅広く連携するこの重要性を議論し、東京宣言(Tokyo Commitment)を採択する。
	5. 将来の消費者 (8時30分～10時30分)	進化する消費者のニーズをいかにして把握し、その求めるものを提供するかを、商品およびテクノロジーの両面から議論する。
4月19日(木)	特別講演 (11時00分～11時30分)	
	6. 明日へのツーリズム (11時30分～13時10分)	他産業の事例に学びつつ、社会、地球環境、利潤をいかに調和させ、産業の健全な発展を遂げるかを、イノベーションやサプライチェーンなどを切り口に討議する。
	次期開催地アブダビへの引継ぎ式・閉会式 (13時10分～13時30分)	

※登壇者・テーマ・時間・内容は変更になる可能性がありますので、予めご了承ください。



第12回 WTTC グローバルサミット日本組織委員会事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-3-12 西神田 YSビル 4階

電話:03-3221-2351 FAX:03-3239-1535

事務局メールアドレス summit2012@bsec.jp / 日本語版ホームページ <http://www.wttc2012summit.com>

(2012年4月6日作成)